

令和6年2月市議会建設水道委員会資料

第2号議案 令和5年度長崎市一般会計補正予算（第13号）

[7款 商工費 1項 商工費]

4目 観光費

- ・【補助】街なみ環境整備事業費 夜間景観整備

繰越明許費補正 2~4

[8款 土木費 4項 港湾費]

2目 県施行事業費負担金

- ・港湾費負担金 港湾事業費

繰越明許費補正 5~24

[8款 土木費 5項 都市計画費]

1目 都市計画総務費

- ・離島航路維持対策費 25~26

- ・【単独】新幹線整備推進事業費

九州新幹線西九州ルート建設事業費負担金

繰越明許費補正 27~29

7目 県施行事業費負担金

- ・都市計画費負担金 JR長崎本線連続立体交差事業費

繰越明許費補正 30~34

まちづくり部

令和6年2月

予算説明書【繰越明許費】				事業名	繰越明許額
ページ	款	項	目		
50～51	7 商工費	1 商工費	4 観光費	【補助】街なみ環境整備事業費 夜間景観整備	54,300 千円

1 事業費及び財源内訳

事業名	金額		財源内訳				
			国庫支出金 (※1)	県支出金	地方債 (※2)	その他	一般財源
【補助】街なみ環境 整備事業費 夜間景観整備	予算現額	千円 55,200	千円 25,300	千円 -	千円 23,500	千円 -	千円 6,400
	支出予定額	900	-	-	800	-	100
	繰越明許費	54,300	25,300	-	22,700	-	6,300

※1 社会資本整備総合交付金 補助率50%(工事監修業務2,000千円は対象外)

※2 公共事業等債 起債充当率90%(交付税措置率22.2%)(工事監修業務2,000千円は対象外)

2 事業概要

夜景の更なる魅力向上を図るため、平成29年5月に策定した「環長崎港夜間景観向上基本計画」に基づき、夜のまち歩きを楽しむための「中・近景の夜間景観づくり」や稲佐山などの主要な視点場から見る夜景の魅力を高めるための「遠景の夜景みがき」の夜間景観整備を行う。

【事業期間】令和2年度～令和6年度

【令和5年度事業】東山手・南山手エリアにおいて、回遊路の街路灯などの改修

3 繰越事由

夜間景観照明整備工事において、資材の調達に時間を要したことにより、事業が年度内に完了しない見込みであるため。

繰越箇所の完了予定時期 令和6年10月

4 事業スケジュール

項目	令和5年度				令和6年度		
夜間景観照明整備工事				●——●			
				●- - -●			●
工事監修業務委託		●——●					
		●- - -●					●

●——● : 当初 ●- - -● : 変更(繰越)

5 位置図

■南山手町1号線ほか1線
街路灯改修 5箇所



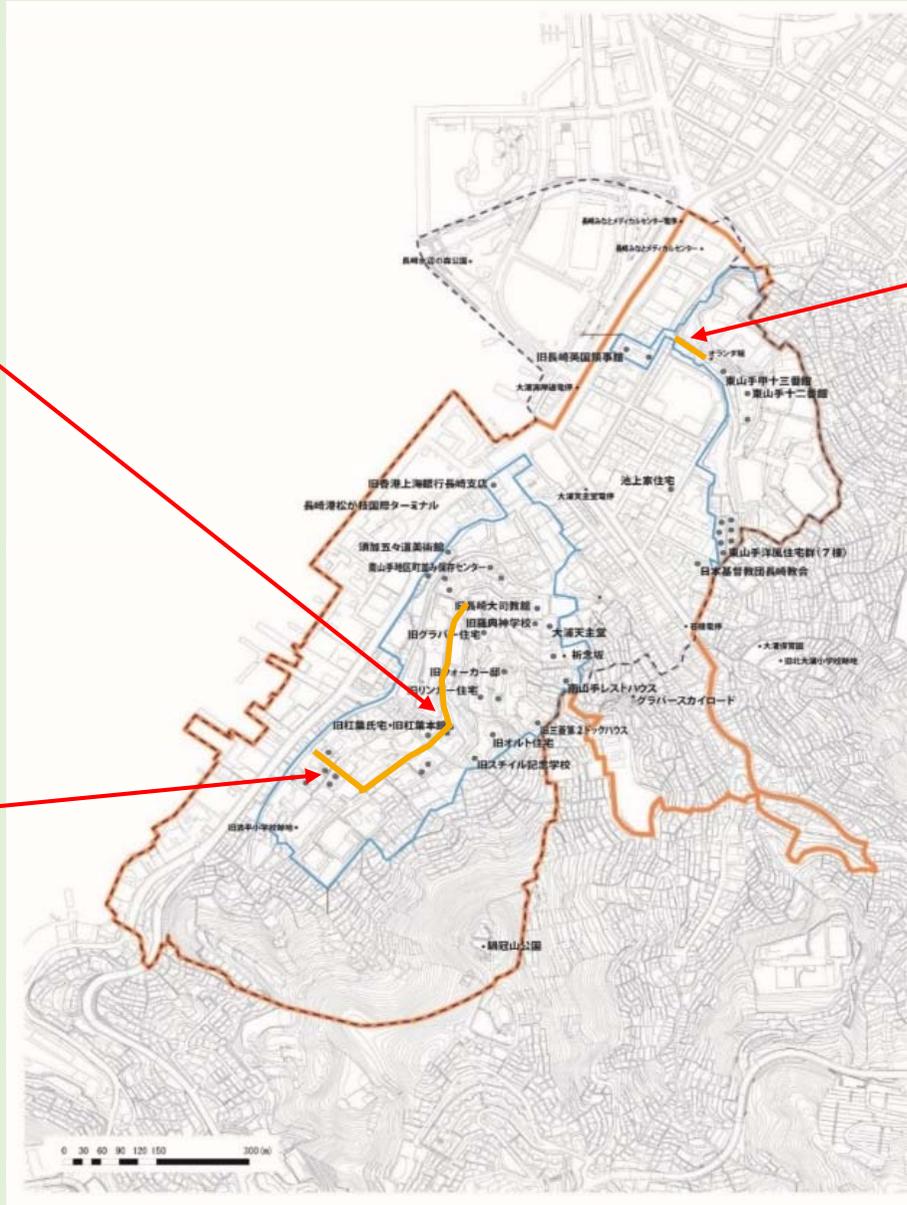
整備イメージ



■南山手町4号線(どんどん坂)
手摺照明設置105m



整備イメージ



■大浦町下町1号線
手摺照明設置 30m



整備イメージ



予算説明書【繰越明許費】				事業名	繰越明許額
ページ	款	項	目		
52～53	8 土木費	4 港湾費	2 県施行事業費 負担金	港湾費負担金 港湾事業費	千円 204,777

1 事業費及び財源内訳

事業名	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
港湾費負担金 港湾事業費	予算現額	千円 709,960	千円 —	千円 —	(※1) 千円 (※2) 640,500	千円 —	千円 69,460
	支出予定額	479,243	—	—	429,600	—	49,643
	繰越明許額 第11号補正 (1次補正分)	25,940	—	—	(※2) 25,900	—	40
	繰越明許額 第13号補正 (当初予算分)	204,777	—	—	(※3) 185,000	—	19,777
	繰越明許 合計額	230,717	—	—	(※2) (※3) 210,900	—	19,817

※1 公共事業等債90%(交付税措置率 22.2%)、過疎対策事業債100%(交付税措置率70.0%)、
緊急自然災害防止対策事業債100%(交付税措置率70.0%)

※2 補正予算債(防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債)100%(交付税措置率 50.0%)

※3 公共事業等債90%(交付税措置率 22.2%)、緊急自然災害防止対策事業債100%(交付税措置率70.0%)

2 繰越事由

繰越事由及び繰越箇所の完了予定時期・・・別紙のとおり

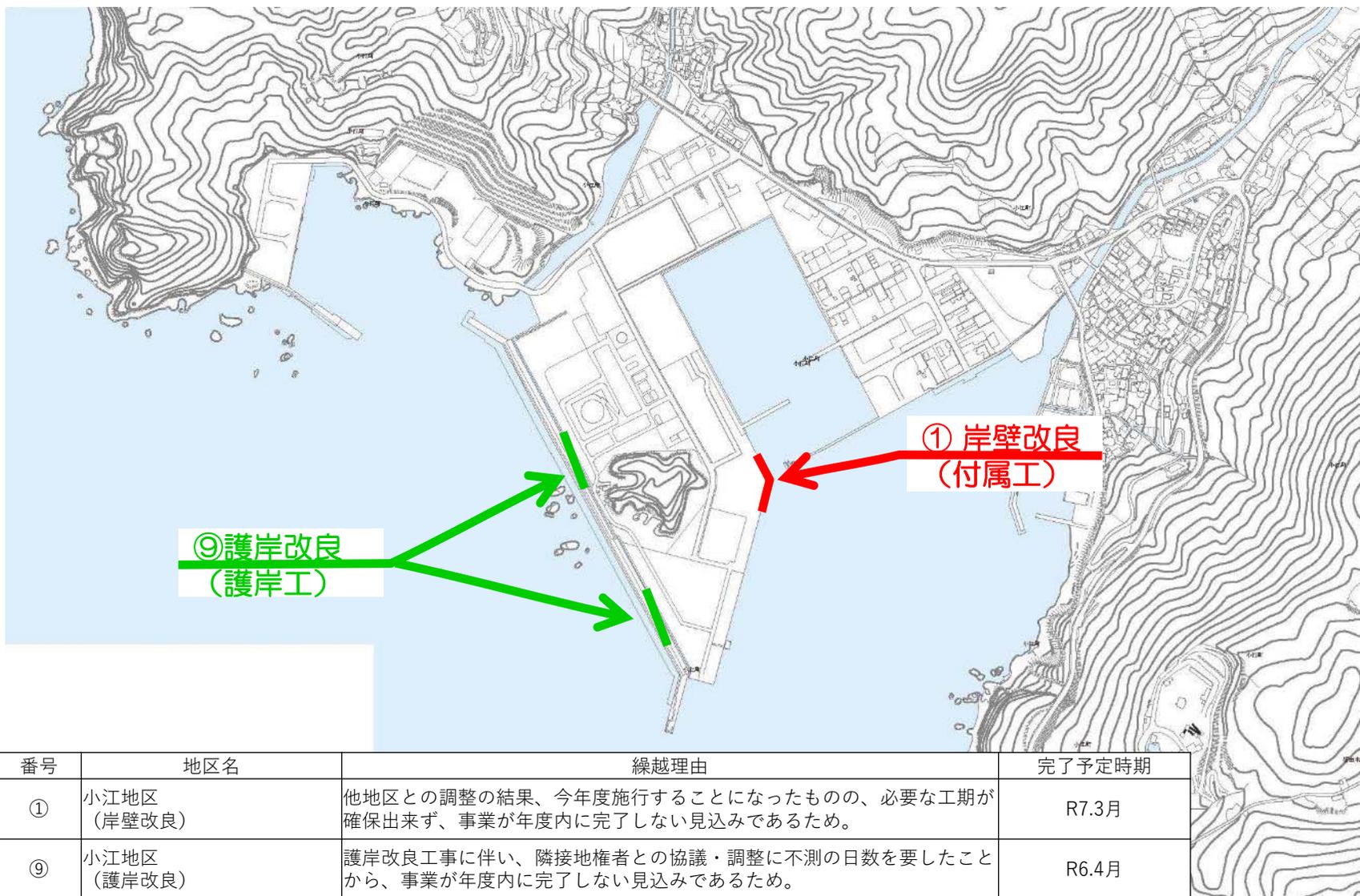
3 令和5年度繰越内容

事業名		繰越明許 第13号補正 (当初予算分) 対象事業費	内訳(単位:千円)					事業期間
図面 番号	地区名		国費	県費	市費	市費内訳		
						地方債	一般財源	
補助事業(港湾メンテナンス事業)			1/3	1/2	1/6			
①	小江地区(岸壁改良)	90,000	30,000	45,000	15,000	13,500	1,500	R4 ~ R7
社会資本整備総合交付金事業(改修事業)			4/10	4.5/10	1.5/10			
②	茂木地区(物揚場改良)	160,000	64,000	72,000	24,000	47,200	5,300	H24 ~ R8
③	松が枝地区(移転補償)	70,000	28,000	31,500	10,500			H26 ~ R10
④	松が枝地区(岸壁改良)	120,000	48,000	54,000	18,000			H26 ~ R10
社会資本整備総合交付金事業(改修事業)			4.5/10	4.125/10	1.375/10			
⑤	元船、常盤・出島地区(浮棧橋改良)	590,000	265,500	243,375	81,125	116,300	12,950	H20 ~ R9
⑥	元船、常盤・出島地区(岸壁改良)	120,000	54,000	49,500	16,500			H20 ~ R9
⑦	福田地区(緑地改良)	150,000	67,500	61,875	20,625			H20 ~ R9
⑧	長崎港(港湾整備検討支援)	80,000	36,000	33,000	11,000			R5 ~ R9
県単独事業(港湾海岸改修事業)			-	9.3/10	0.7/10			
⑨	小江地区(護岸改良)	60,000	-	55,800	4,200	6,300	-	R5 ~ R7
⑩	東望地区(護岸改良)	30,000	-	27,900	2,100			R5 ~ R7
県単独事業(河川海岸改修事業)			-	9.3/10	0.7/10			
⑪	村松地区(護岸改良)	24,662	-	22,935	1,727	1,700	27	R2 ~ R6
合計		1,494,662	593,000	696,885	204,777	185,000	19,777	



小江地区

長崎港 県事業 社会資本整備総合交付金
 長崎港 県単独事業



① 岸壁改良(付属工)



岸壁改良箇所の現況

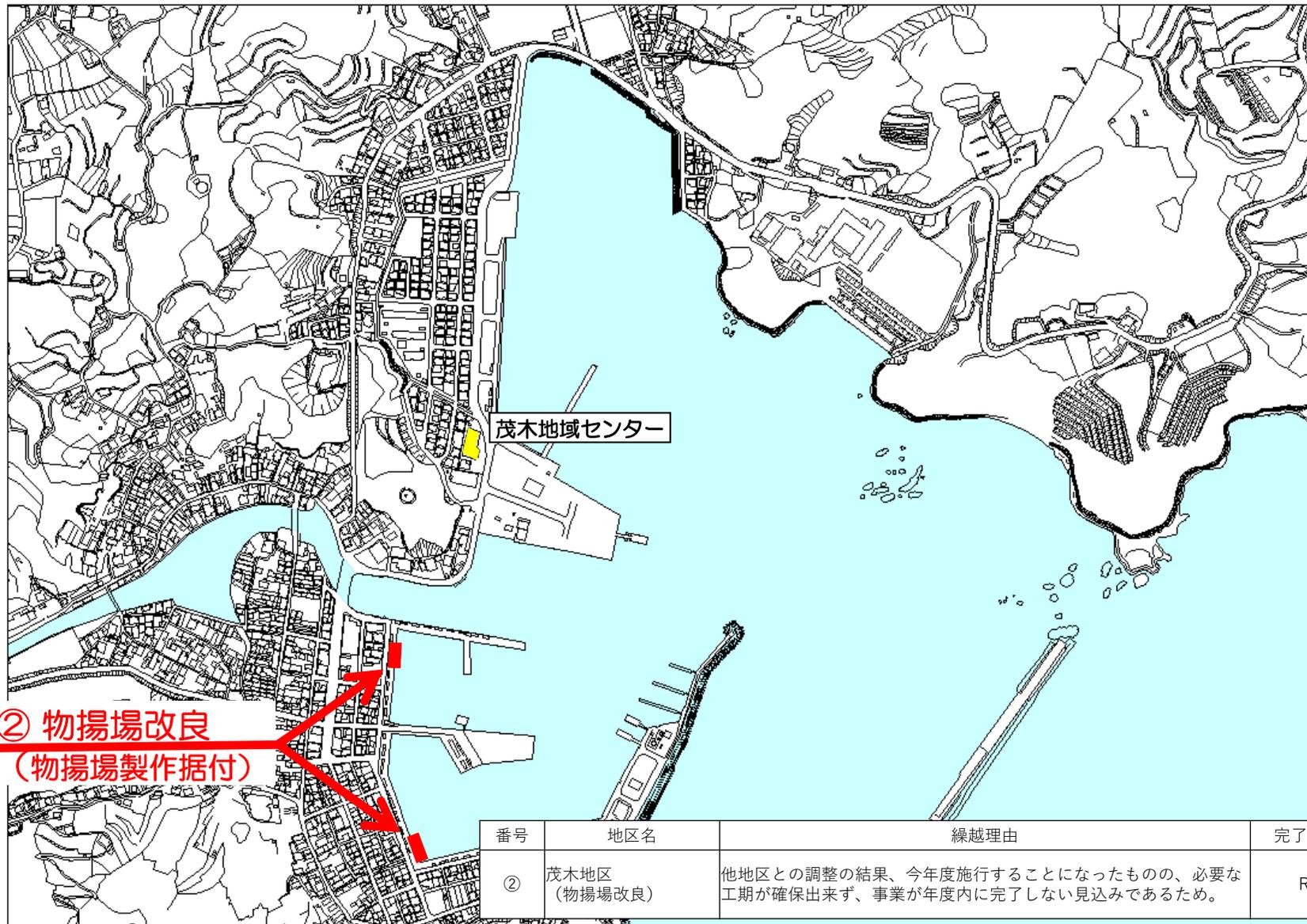
⑨ 護岸改良(護岸工)



護岸改良箇所の現況

茂木地区

茂木港 県事業 社会資本整備総合交付金



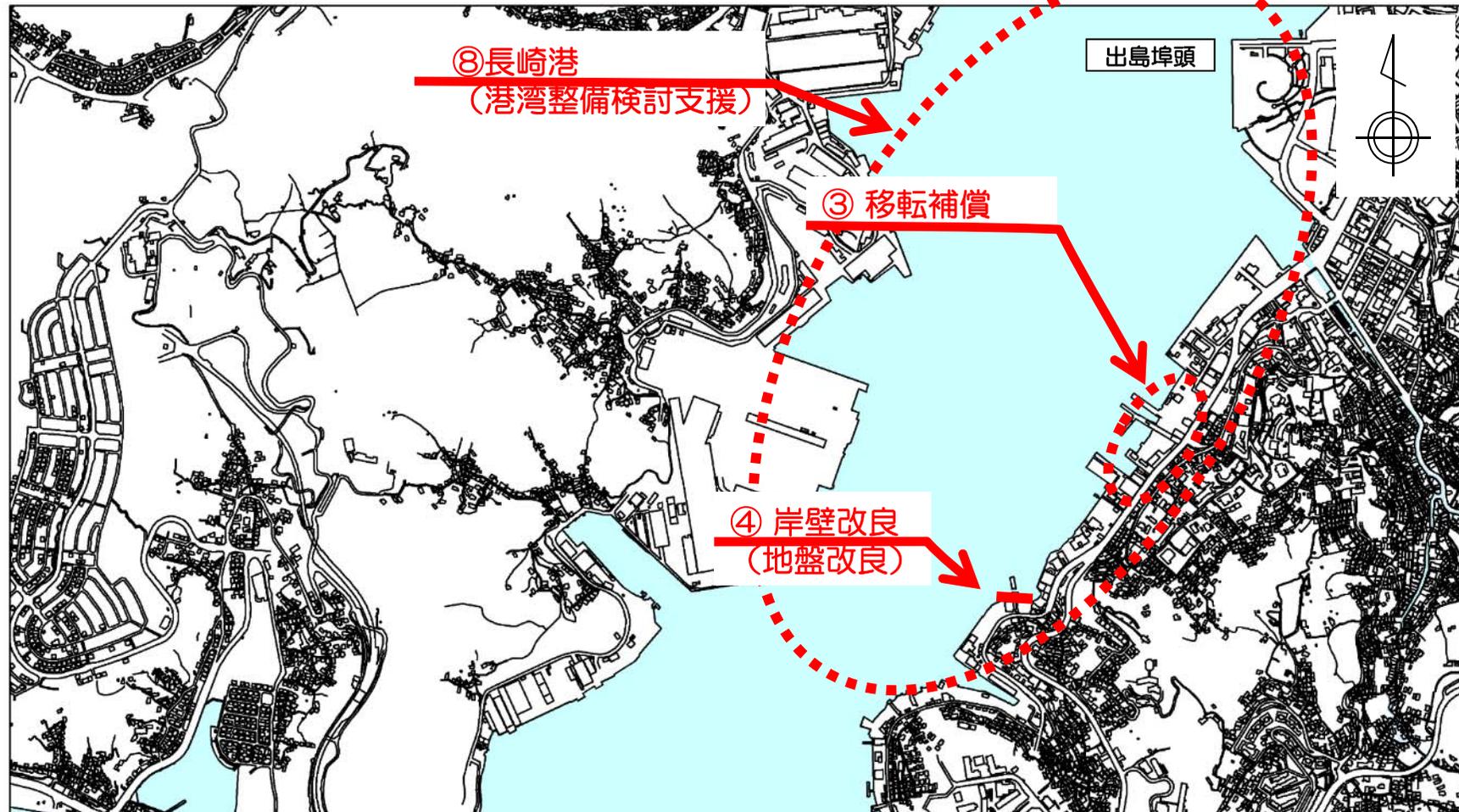
② 物揚場改良(物揚場製作据付)



物揚場改良箇所の現況

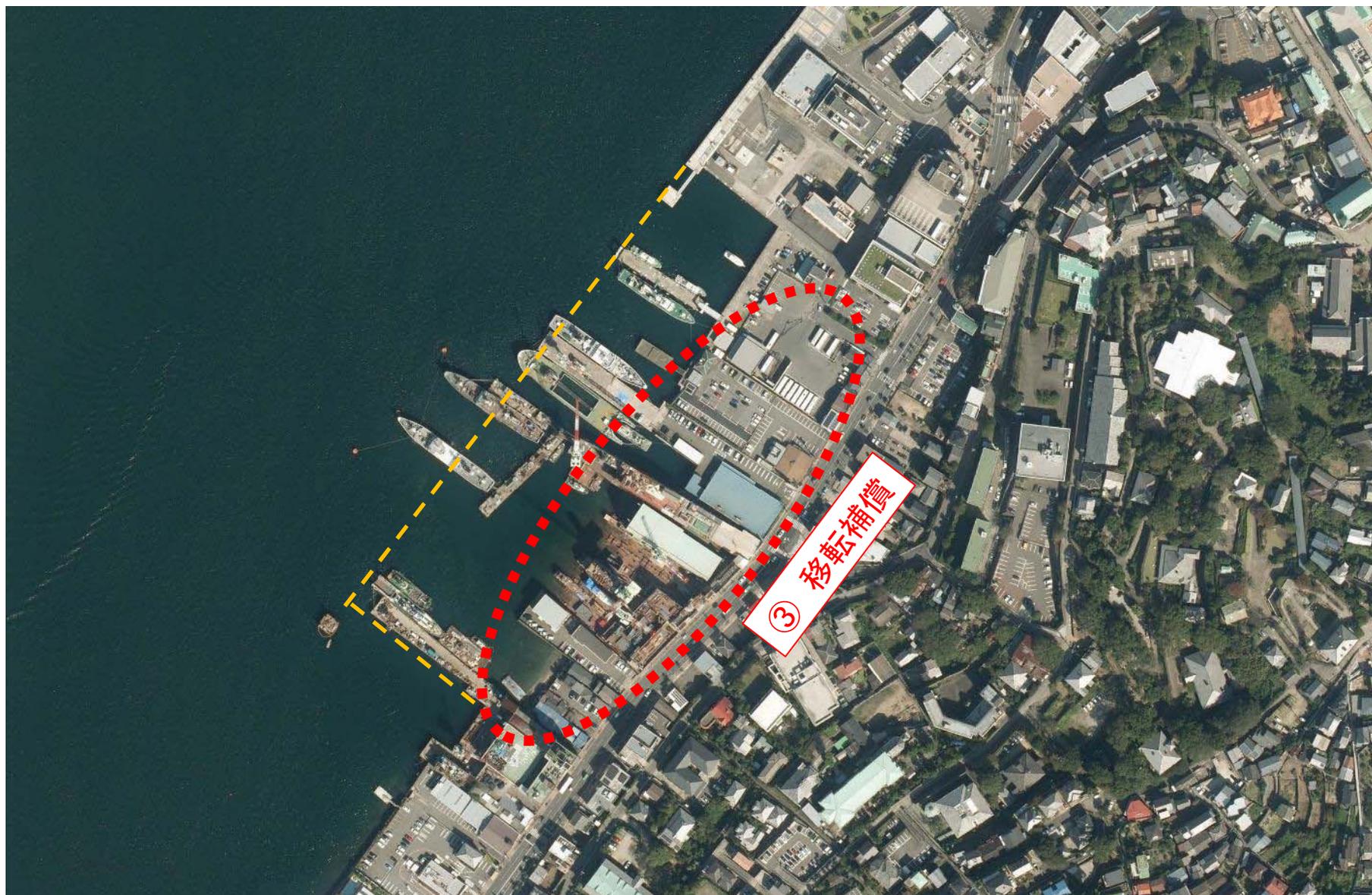
松が枝地区・長崎港

長崎港 県事業 補助事業・社会資本整備総合交付金



番号	地区名	繰越理由	完了予定時期
③	松が枝地区 (移転補償)	松が枝2バース化に伴う移転補償について、地権者交渉に不測の日数を要しており、事業が年度内に完了しない見込みであるため。	R7.3月
④	松が枝地区 (岸壁改良)	当該地区内の他事業との調整の結果、今年度施行することになったものの、必要な工期が確保出来ず、事業が年度内に完了しない見込みであるため。	R7.3月
⑧	長崎港 (港湾整備検討支援)	大型客船の入港要望がなされたことに伴い、関係機関との調整が必要となったが、関係機関との調整に不測の日数を要したことから、事業が年度内に完了しない見込みであるため。	R6.9月

③ 移転補償



移転補償箇所付近の現況(航空写真)

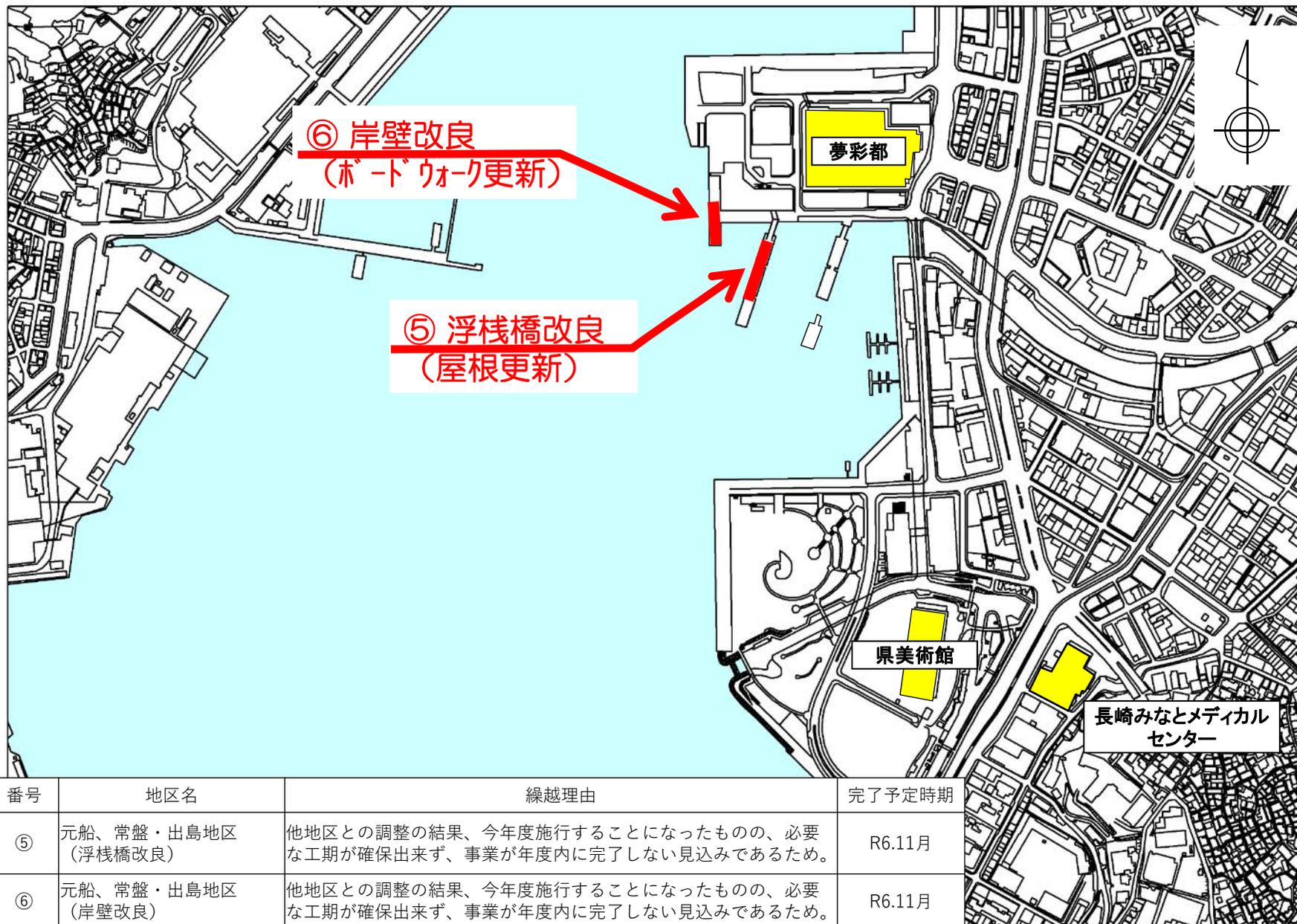
④ 岸壁改良(地盤改良)



岸壁改良箇所の現況

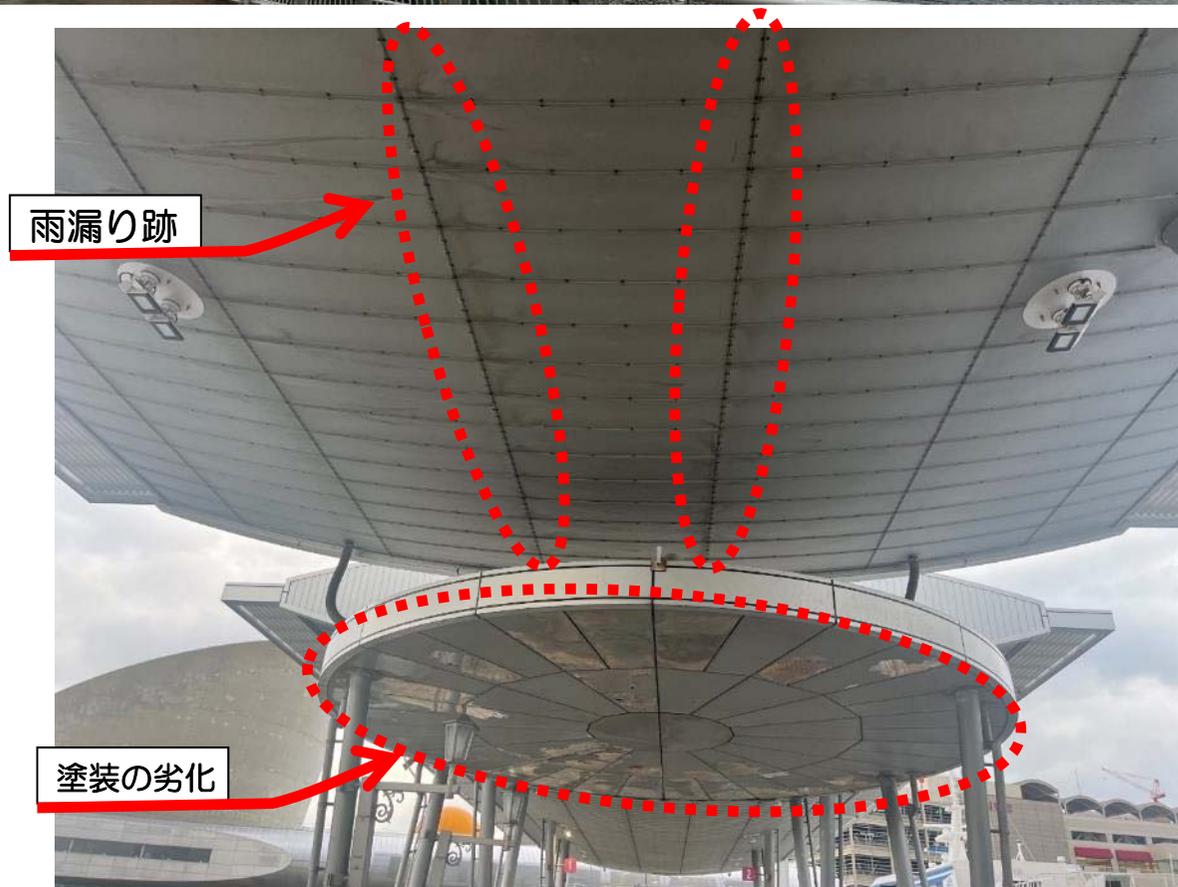
元船、常盤・出島地区

長崎港 県事業 社会資本整備総合交付金



番号	地区名	繰越理由	完了予定時期
⑤	元船、常盤・出島地区 (浮棧橋改良)	他地区との調整の結果、今年度施行することになったものの、必要な工期が確保出来ず、事業が年度内に完了しない見込みであるため。	R6.11月
⑥	元船、常盤・出島地区 (岸壁改良)	他地区との調整の結果、今年度施行することになったものの、必要な工期が確保出来ず、事業が年度内に完了しない見込みであるため。	R6.11月

⑤ 浮棧橋改良(屋根更新)



浮棧橋改良箇所 の 現況

⑥ 岸壁改良(ボードウォーク更新)



岸壁改良箇所の現況

福田地区

長崎港 県事業 社会資本整備総合交付金



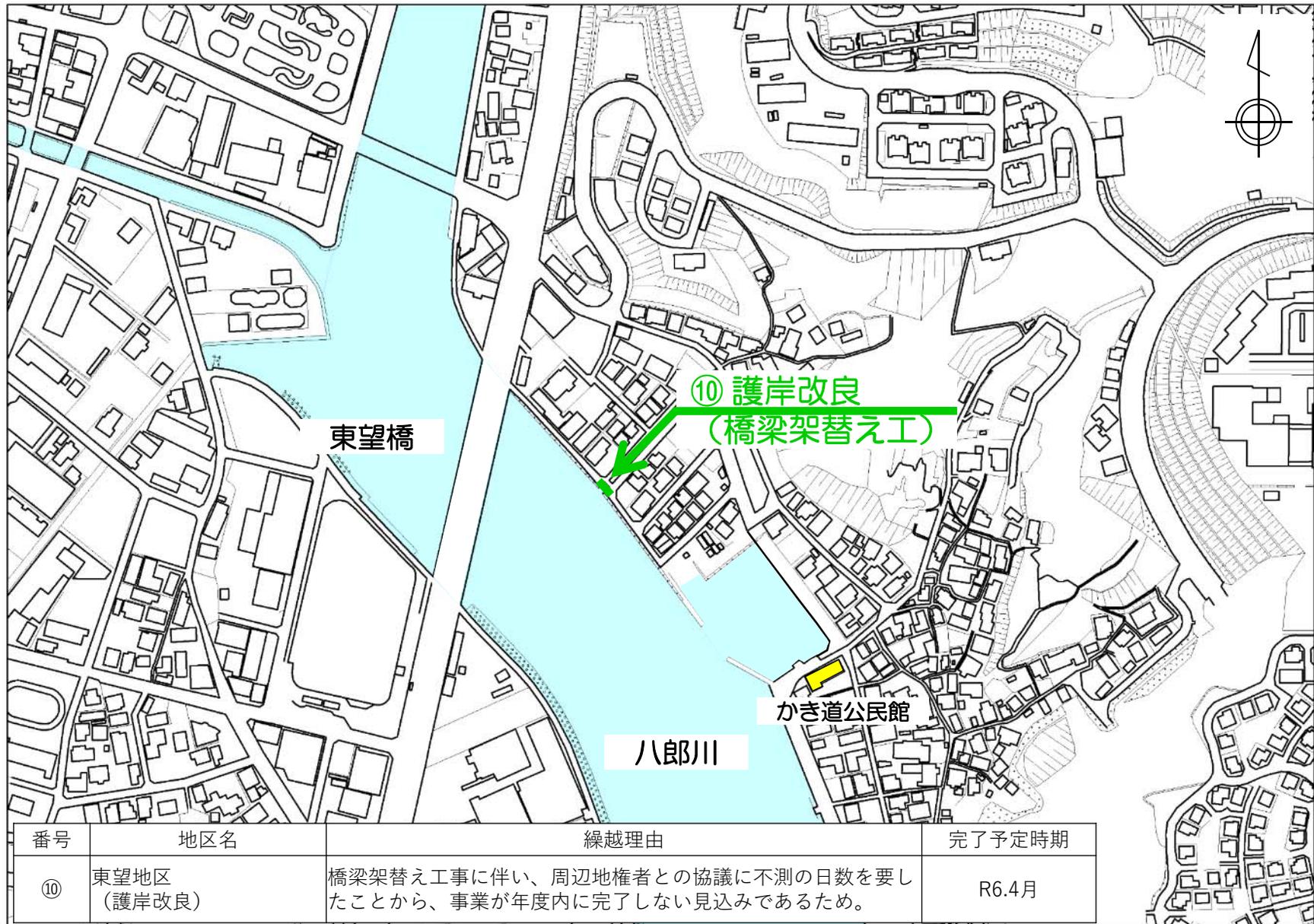
⑦ 緑地改良(舗装工)



緑地改良箇所の現況

東望地区

東望地区 県単独事業



⑩ 護岸改良（橋梁架替え工）



護岸改良箇所の現況

村松地区

村松海岸 県単独事業



⑪ 護岸改良（護岸工）



護岸改良箇所の現況

予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
34～35	8 土木費	5 都市計画費	1 都市計画 総務費	1-1	離島航路維持対策費	千円 6,293

1 事業目的

「長崎～伊王島～高島航路」及び「池島～神浦航路」は、本土と離島を結ぶ唯一の公共交通機関であり、地域住民の生活を守るうえで欠くことのできないものであることから、運航のために必要な支援を行うもの。

2 事業内容

離島航路の補助金のうち、長崎～伊王島～高島航路の船舶修繕費が当初の見込みを上回ったことにより補助金額が増となる見込みであるため増額補正するもの。

- (1) 対象者 野母商船(株)、進栄丸
(2) 対象経費 離島航路の運航に係る純損失額
(3) 事業費内訳 旅 費 108千円
補助金 長崎～伊王島～高島航路 86,035千円
池島～神浦航路 15,545千円 事業費計 101,688千円

(4) 補正内容 (単位：千円)

区分	①収入額	②支出額	③損失額 (②-①)	補助金 ※国の補助を除いて県と市で1/2ずつ			
				国(1/2)	県※	市※	
長崎～伊王島 ～高島航路	当初見込④	149,497	381,472	231,975	59,905	86,035	86,035
	実績⑤	161,172	405,733	244,561	59,905	92,328	92,328
	差額(⑤-④)	11,675	24,261	12,586	0	6,293	6,293

3 財源内訳

区分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	千円 101,688	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 101,688
補正額	6,293	-	-	-	-	6,293
補正後の額	107,981	-	-	-	-	107,981

4 参考

■市内離島航路図



【凡例】	使用船舶	航路名称
	高速船	佐世保～神浦
	フェリー	
	海上タクシー	池島～神浦
	高速船	長崎～伊王島～高島

※佐世保～神浦航路は国、県の補助金が充てられていることから長崎市の負担は生じていない

予算説明書【繰越明許費】				事業名	繰越明許額
ページ	款	項	目		
52～53	8 土木費	5 都市計画費	1 都市計画 総務費	【単独】新幹線整備推進事業費 九州新幹線西九州ルート建設事 業費負担金	千円 3,400

1 事業費及び財源内訳

区分	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
通常分	予算現額	千円 58,100	千円 —	千円 —	※1 千円 52,200	千円 —	千円 5,900
	支出予定額	54,700	—	—	49,200	—	5,500
	繰越明許額	3,400	—	—	3,000	—	400
保守 管理費	予算現額	7,400	—	—	—	—	7,400
	支出予定額	7,400	—	—	—	—	7,400
	繰越明許額	0	—	—	—	—	0
繰越明許額合計		3,400	—	—	3,000	—	400

※1 一般単独事業債 充当率90%(交付税措置率50%)

2 事業概要

- ・総事業費 約6,197億円(武雄温泉～長崎間)
- ・事業期間 平成24年度 ～ 令和7年度
- ・進捗率 約95%(令和5年3月末)

3 繰越事由

天神町付近の家屋にかかる騒音振動対策(家屋補償)において、関係者との協議に時間を要したことにより、事業が年度内に完了しない見込みであるため。
繰越箇所の完了予定時期 令和6年9月

4 事業スケジュール

項目	令和5年度	令和6年度
付帯工事	騒音振動対策	
	騒音振動対策	

●——● : 当初 ●- - -● : 変更(繰越)

5 負担区間・箇所 位置図(繰越予定箇所)



予算説明書【繰越明許費】				事業名	繰越明許額
ページ	款	項	目		
54～55	8 土木費	5 都市計画費	7 県施行事業費 負担金	都市計画費負担金 JR長崎本線連続立体交差事業費	千円 148,750

1 事業費及び財源内訳

区分	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補助分	予算現額	千円 267,800	千円 —	千円 —	※1 千円 241,000	千円 —	千円 26,800
	支出予定額	144,050	—	—	129,700	—	14,350
	繰越明許額	123,750	—	—	111,300	—	12,450
旧地方特定 道路整備 事業費分	予算現額	114,000	—	—	※2 102,600	—	11,400
	支出予定額	89,000	—	—	80,100	—	8,900
	繰越明許額	25,000	—	—	22,500	—	2,500
繰越明許額合計		148,750	—	—	133,800	—	14,950

※1 公共事業等債 充当率90%(交付税措置率22.2%)

※2 一般単独・地方道路等整備事業債 充当率90%(交付税措置率—%)

2 事業概要

- ・事業区間 2,480m
- ・総事業費 約529億円
- ・事業期間 平成21年度 ~ 令和6年度
- ・進捗率 約98%(令和5年3月末)

3 繰越事由

長崎県が施行する長崎駅東通り線道路改良工事における施工方法等について、関係機関や地元協議に時間を要したことにより、事業が年度内に完了しない見込みであるため。

繰越箇所の完了予定時期 令和6年9月

4 事業スケジュール

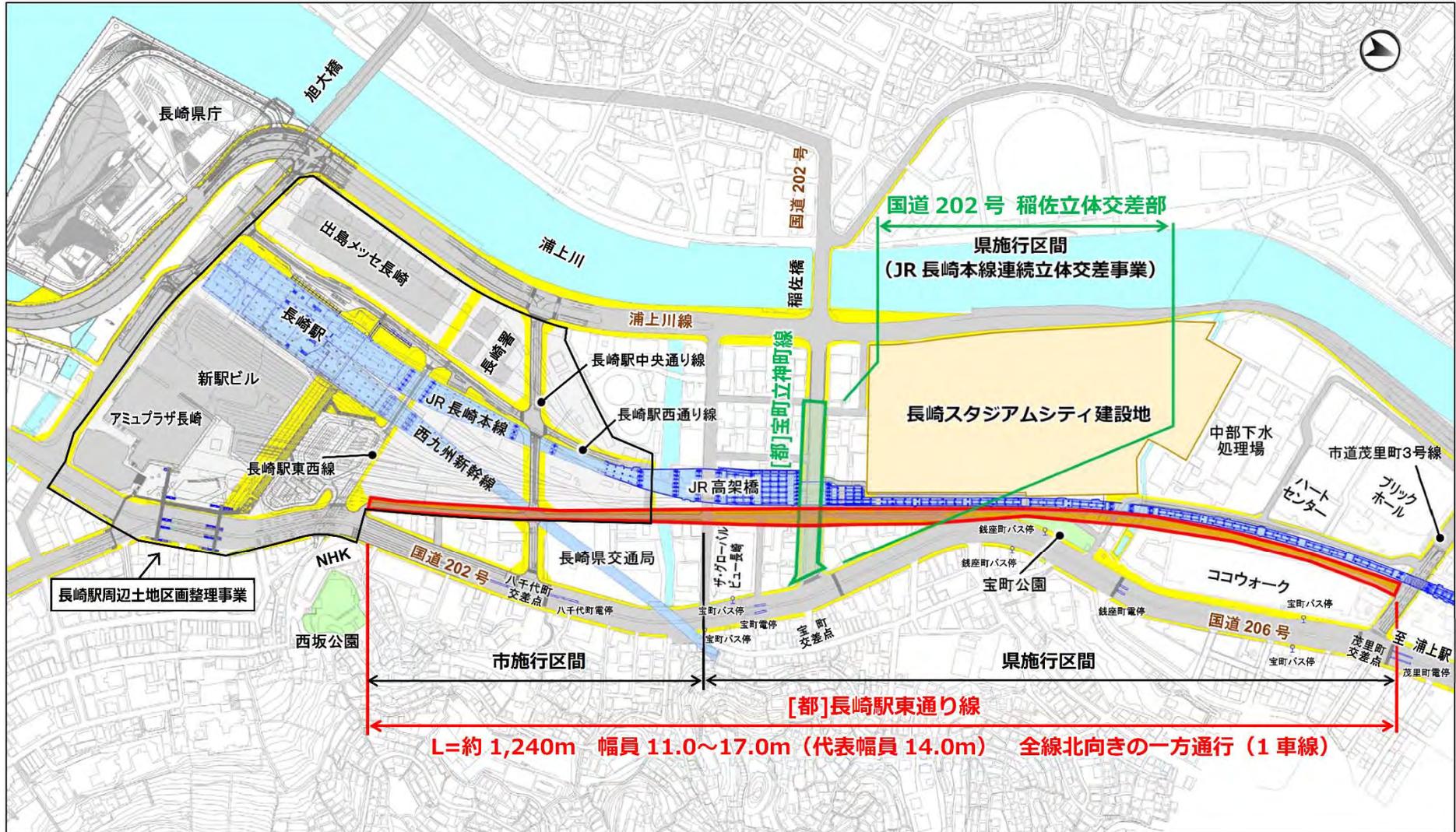


●————● :当初 ●-----● :変更(繰越)

JR長崎本線連続立体交差事業(松山町～尾上町)平面図



長崎駅東通り線 位置図



● 稲佐立体交差部の整備

稲佐立体交差点部平面図



標準断面図

